

平成 30 年度第 1 回肝属保健医療圏地域医療構想調整会議 開催結果

日 時：平成 30 年 8 月 8 日（水）18:00～19:40

場 所：大隅地域振興局別館 2 階大会議室

出席者：委員 20 名（うち代理 7 名）、関係医療機関 2 名、傍聴者 12 名（委員随行者を含む）、事務局 5 名

【議事事項】

1 議長選出

議長に小倉委員，副議長に四元委員が選出された。

2 報告及び説明事項

- (1) 医療関係者専門部会開催報告
- (2) 平成 29 年度病床機能報告集計結果（速報値）
- (3) 地域医療介護総合確保基金

3 協議事項

- (1) 今年度の調整会議の進め方
- (2) 病院の開設等に対し調整会議への出席を求める際の基準
- (3) 1 年以上の非稼働病棟を有する医療機関

4 その他

【主な意見等】

1 協議事項

(1) 今年度の調整会議の進め方

- ・不確定要素が多いなかで 2025 年の具体的なビジョンが描けるかどうか疑問ではあるが，協議の事実が非常に大事になってくる。
- ・医療スタッフ（医師，薬剤師，看護師）の確保は深刻な問題である。肝属保健医療圏の医療をいかに維持するかは，県全体で，鹿児島大学も含めて協議する必要がある。
- ・現在従事している医師・看護師の年齢構成が上がってきており，病院として成り立っていないのではないかと懸念している。協議の場を活用して地域の情報を集約し県全体で考えていかなければならない。
- ・地域医療介護総合確保基金の使い方について具体的な事例を示してほしい。

(2) 病院の開設等に対し調整会議への出席を求める際の基準

- ・各調整会議において地域の実情に合わせて設定する病床数は，100 床とする。ただし，議長が必要と判断するものを加える。

(3) 1 年以上の非稼働病棟を有する医療機関

桑波田産婦人科，中塩医院及び花田整形外科・リウマチ科医院が，病棟を稼働していない理由及び今後の見通しに関する計画について説明

- ・一度なくした病床が復活するのは厳しい現実があるので病床をなくすのは医師として断腸の思いで返上することを分かってもらいたい。
- ・継承の問題，スタッフの確保は切実な問題である。

2 その他

- ・大隅地域の現状を踏まえて大隅一円で，お互いがないものを補完し合いながら継続して協議していく必要がある。
- ・錦江町・南大隅町，肝属郡医師会では，検討委員会を立ち上げ南隅地域にふさわしい医療介護のあるべき姿を検討していく予定である。
- ・大隅地域は，観光産業関係で流入人口（観光客，外国人）の増加がみられ，観光客の交通事故による救急搬送も増加しており別途検討が必要である。
- ・行政としては，今後も転ばん体操や普及啓発など予防に力を入れていきたい。
- ・地域医療総合確保基金事業補助金は，不足している病床機能（高度急性期・回復期）への転換のための整備費用の助成であり，南隅地域では慢性期・急性期も必要だが，現在のところ補助対象とならない。基金が有効に使えるようもっと議論し，県も柔軟に考えてもらいたい。